

学年	教科等	単元名	日時
第1学年	生活科	ぐんぐんそだて	平成30年7月4日(水) 5校時
本時における「深い学び」	<p>これまでに栽培活動を見たり、植物の名称について知っていたりする子どもは多い。しかし、実際に責任をもってかかわる経験をしている子どもは多くはない。また、日常生活のなかで、気付いたことを嬉しそうに伝えに来る子どももいる一方、関心がもてなかったり、もっていても伝えられなかったりする子どもの姿が見られる。そこで、本単元では、学習と日常生活を結び付けるような手立てを工夫し、意見を交流する場を設定することで、意欲を高め、自分の気付きを明確にさせるとともに、友達の良さを認めることができるようにする。本時においては、アサガオを飾るイベントを計画する活動をとおして、自分の思いを表現する方法を考えることができることを深い学びとする。</p>		

本時まで



アサガオ以外の植物も育てました。



日かげでも育てて、比べてみました。



実は1つだけ、ユウガオ



わたしたちのアサガオと何かちがうなあ。

単元の導入で5種類の花の種クイズをしたり、その他の植物を育てたり、日かげで育てたりして比較する機会を作った。

前時は...

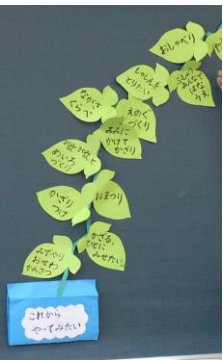
種まきからこれまでをふりかえろう!

おひさまの光があたる中庭がいいかな。たくさんの人に見てもらえる図書室がいいかな。お友だちのいるいちょう学級の近くがいいかな。

小さかったのに大きくなったね。

本時は...

「花が咲いたらしたいこと」アンケート結果発表!
いちばん多かった「飾る」イベントに決定しました。



おひさまの光があたる中庭がいいかな。たくさんの人に見てもらえる図書室がいいかな。お友だちのいるいちょう学級の近くがいいかな。

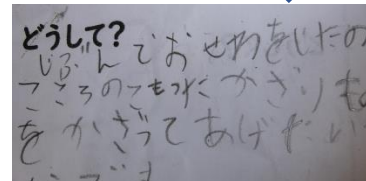
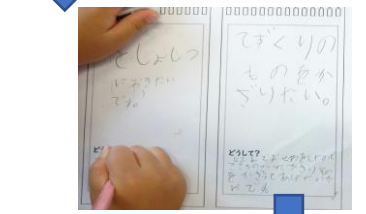


事後は...

実践後、アサガオへの思いを込めた短冊を七夕飾りのようにつけたり、校内へ飾ったりして、考えた方法を実現させることができた。全校のみんなに花を見てもらうことで、さらに達成感を味わうことができた。



図書室に飾りました。



授業実践計画

○ 指導計画 (20 時間)

- | | |
|--|------------|
| (1) アサガオや他の植物の種を観察して、種をまく。_____ | 3 時間 |
| (2) アサガオを育てる。_____ | 12 時間 |
| ・ 発芽した植物の様子を観察し、変化や成長の様子を捉える。・ ・ ・ ・ ・ | 7 |
| ・ 植物の成長の様子を観察し、自分とのかかわりに気付く。・ ・ ・ ・ ・ | 1 |
| ・ アサガオが咲いたときに行うイベント①の準備をし、実施する。・ ・ ・ ・ ・ | 2 (本時 1/2) |
| ・ アサガオが咲いたときに行うイベント②を計画し、実施する。・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| (3) 花や種を生かした活動を行い、活動をふりかえる。_____ | 5 時間 |

○ 本時の目標

自分の思いを表現できるようなアサガオの置き場所や飾り方について考えることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1 本時学習について話し合う。 ○ アサガオと写真の提示 ○ 本時のめあて あさがおいべんとのけいかくをたてよう。	○ アサガオと、これまでのアサガオの写真を提示し、成長の様子をふりかえることで、成長の喜びやお世話を頑張ってきた自分に気付かせるようにする。 ○ 子どもの学習プリントの言葉を紹介し、花が咲くのを楽しみにしている気持ちを共有し、本時への意欲を高める。
2 学習への見通しをもつ。 ○ アサガオイベント ・ 1回目：「あさがおをかざろう！」 ・ 2回目：「○○をしよう！」(今後決定) ○ 話合い→準備→イベント	○ 本時は、子どもが主体となって活動するイベントの第1回目であるため、子どもたちの言葉をつないで、教師が提案者のモデルを示すようにする。そして、第2回目の足がかりとなるようにする。
3 どんなイベントにしたいか話し合う。 ○ アサガオを置く場所や置き方 ○ 植木鉢や支柱への飾り付け	○ 生活科学習で学校の探検をしたり、他教科等で文を書いたり飾り作りをしたりしてきたことを想起させることで、アサガオを飾るための工夫を考えることができるようにする。
4 自分のアサガオをどのように飾るか考える。 ○ 場所 【例】・ 太陽の光が当たるところがいいな。 ・ 校長先生に見せたいから校長室に置きたいな。 ○ 飾り方 【例】・ アサガオさんの名前を紹介したいな。 ・ 支柱に飾りを付けたいな。	○ 活動の目的を考えさせることで、楽しさだけを優先させるのではなく、アサガオが主役になれる活動を考えるようにする。 ○ アサガオを見せたい相手をイメージさせることで、場所や置き方を考えられるようにする。 ○ 「アサガオへの思い」「自分への思い」「身近な人への思い」が出るのが予想されるが、いずれでも認めることで、子どもの思いを広げたり、自分とのかかわりについて考えたりできるようにする。
5 本時学習についてふりかえり、次時の予告を聞く。 ○ 意見の交流 ○ アサガオへの新たな思いや願い	○ 自分の考えを伝えることで思いを確かにしたり、友達のを聞くことで良さに気付いたりできるようにする。 ○ 次時は、アサガオイベントをすることを伝え、意欲を高めることができるようにする。

○ めざす子どもの姿

アサガオは、みんなに見てもらえる場所に置きたいな。
お手紙も一緒に飾りたいな。

【思考力・判断力・表現力】

